
赤 潮 注 意 報 (シャットネラ マリーナ)

鹿児島県水産技術開発センター
令和 5 年 7 月 1 3 日

鹿児島湾 赤潮注意報 No.2

[1] 7月13日の調査結果

(1) 赤潮生物の出現状況

通常検鏡でシャットネラ マリーナを最高11細胞/mL確認しました (St.⑥)
珪藻類はSt.①, ④でやや少なく、他は多い状況でした。

(2) 海 況

平年値と比べ、表層水温はやや高く湾奥部で27.4~29.9℃、湾中部で27.3~28.5℃。
表層塩分はやや低く22.4~30.4、透明度は平年並みで3.5~6.0mとなっています。

水 温 : 平均 28.5℃ 湾奥部 28.7℃ 湾中部 28.1℃
塩 分 : 平均 25.8 湾奥部 24.5 湾中部 29.7
透明度 : 平均 4.6m 湾奥部 4.3m 湾中部 5.3m
(平年値は平成元年~令和4年の7月上旬の平均値)

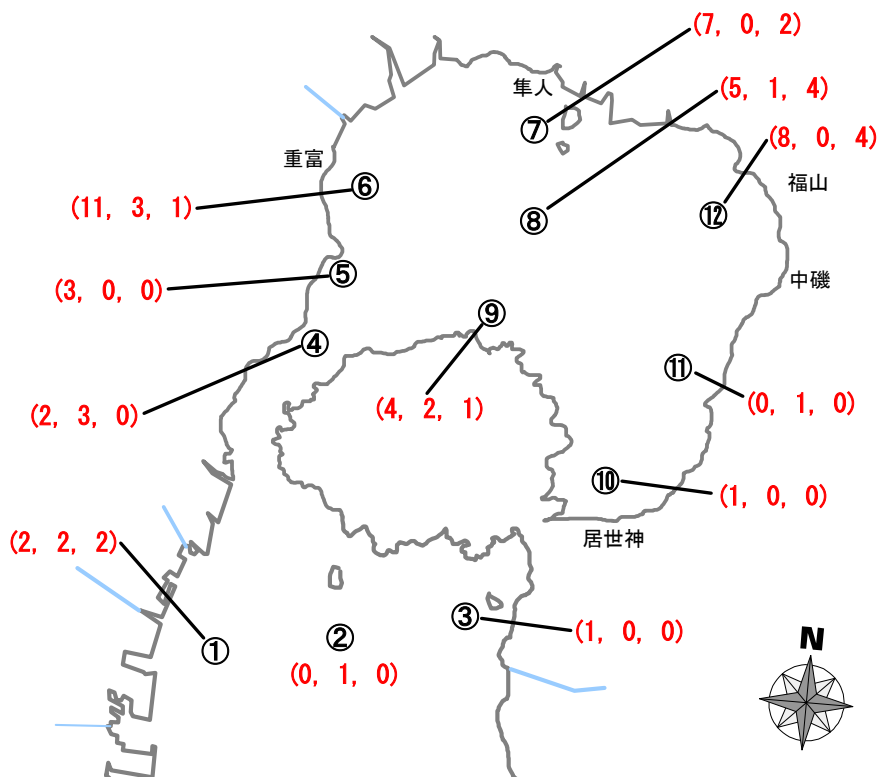
【鹿児島県水産技術開発センター調査】

鹿児島湾赤潮調査結果
調 査 日 : 2023.7.13 (木) 若潮
天 候 : 晴れ一時雨
調査時間 : 7:14 ~ 10:56

赤潮注意報

- ・通常検鏡でシャットネラ マリーナを最高11細胞/mL確認 (St.⑥)
- ・珪藻類はSt.①, ④でやや少なく、他は多い。

() 内 : 0, 5, 10m層のシャットネラ マリーナの細胞密度 (細胞/mL)



・平均表層水温 : 平均 28.5℃ (平年比+2.1℃, やや高め) (湾奥28.7℃ 湾中28.1℃)
・平均表層塩分 : 平均 25.8 (平年比-2.4, やや低い) (湾奥24.5 湾中29.7)
・平均 透明度 : 平均 4.6m (平年比+0.1m, 平年並み) (湾奥 4.3m 湾中 5.3m)
●平年値は平成元年~令和4年の7月上旬の平均値

鹿児島県水産技術開発センター

[2] 今後の赤潮発生の予想

今回の調査で、有害種であるシャットネラ マリーナが広域で確認されました。

現在は珪藻が多いものの、今後の状況によっては増殖する可能性があります。

各漁協・養殖業者におかれましては、定期的に検鏡等を継続し、注意をお願いします。

※シャットネラ マリーナの特徴

- ・適水温23~26℃
- ・適塩分30以下
- ・魚毒性が強く、致死細胞密度はブリ及びカンパチで、約2,000細胞/mL

(次回調査は7月下旬を予定)

赤潮情報(携帯用) : <http://kagoshima.suigi.jp/akashio/i/index.shtml>

赤潮情報(パソコン用) : <http://kagoshima.suigi.jp/akashio/newHP/index.html>

